

◇ 特別会計収支決算の状況

(1) 国民健康保険特別会計

令和元年度の国民健康保険特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で減少したのは、繰越金が216,816千円(50.8%)の減、県支出金が203,868千円(4.9%)の減となったことが主な要因です。歳出が対前年度比で減少したのは、保険給付費が189,668千円(4.8%)の減となったことが主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	5,836,203	6,200,643	△364,440	△ 5.9
歳 出	5,612,551	5,820,545	△207,994	△ 3.6
歳入歳出差引額	223,652	380,098	△156,446	△ 41.2
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	223,652	380,098		
地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	113,341	169,760		

(2) 駐車場事業特別会計

令和元年度の駐車場事業特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で増加したのは、一般会計繰入金が増が主な要因です。歳出が前年度比で増加したのは、委託料や工事請負費が増加したことが主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	165,661	66,127	99,534	150.5
歳 出	78,672	58,368	20,304	34.8
歳入歳出差引額	86,989	7,759	79,230	1,021.1
翌年度へ繰越すべき財源	83,765	2,944		
実 質 収 支	3,224	4,815		

(3) 介護保険特別会計（保険事業勘定）

令和元年度の介護保険特別会計（保険事業勘定）の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比で増加したのは、交付金及び繰入金が増が主な要因です。歳出が前年度比で減少したのは、国庫支出金等過年度分償還金の減による諸支出金の減が主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	6,153,023	6,092,613	60,410	1.0
歳 出	5,787,562	5,802,601	△15,039	△ 0.3
歳入歳出差引額	365,461	290,012	75,449	26.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	365,461	290,012		
地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	304,342	48,433		

(4) 介護保険特別会計（サービス事業勘定）

令和元年度の介護保険特別会計（サービス事業勘定）の決算状況は下表のとおりです。歳入の主なものは、介護予防サービス計画費収入です。歳出の主なものは、居宅介護支援事業所に支払うサービス計画作成委託料8,706千円、地域包括支援センターの嘱託職員報酬3,689千円です。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	19,781	16,877	2,904	17.2
歳 出	16,970	14,319	2,651	18.5
歳入歳出差引額	2,811	2,558	253	9.9
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	2,811	2,558		

(5) 土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計

令和元年度の土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計の決算状況は下表のとおりです。平成18年度から介護認定審査事務等を効率的に行なうために、介護認定審査会特別会計を瑞浪市と共同で設置しています。歳入は瑞浪市と土岐市からの負担金等で、184回の審査会を開催し、4,430件の審査判定を行いました。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	32,438	45,814	△13,376	△ 29.2
歳 出	32,438	45,814	△13,376	△ 29.2
歳入歳出差引額	0	0	0	-
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	0	0		

(6) 土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計

令和元年度の土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計の決算状況は下表のとおりです。平成18年度から障害者総合支援認定審査事務等を効率的に行なうために、障害者総合支援認定審査会特別会計を瑞浪市と共同で設置しています。歳入は瑞浪市と土岐市からの負担金等及び国県補助金で、14回の審査会を開催し、174件（意見付与を含む）の審査判定を行いました。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	4,072	4,556	△484	△ 10.6
歳 出	4,072	4,556	△484	△ 10.6
歳入歳出差引額	0	0	0	-
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	0	0		

(7) 後期高齢者医療特別会計

令和元年度の後期高齢者医療特別会計の決算状況は下表のとおりです。歳入が前年度比増加したのは後期高齢者医療保険料の増が主な要因です。歳出が前年度比で増加したのは後期高齢者医療広域連合納付金の増が主な要因です。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳 入	774,784	748,762	26,022	3.5
歳 出	756,374	731,847	24,527	3.4
歳入歳出差引額	18,410	16,915	1,495	8.8
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実 質 収 支	18,410	16,915		